

「横浜市の人口—令和4年中の人口動態と令和5年1月1日現在の年齢別人口—」がまとまりました！

<転入・転出からみた特徴>

## 国外からの転入が倍増

～県央、湘南へは転出超過、川崎市、東京都区部からの転入超過数は縮小～

令和4年中の人口動態（転入・転出、出生・死亡等）と令和5年1月1日現在の年齢別人口をまとめましたのでお知らせします。詳細は「横浜市統計情報ポータル」

<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/yokohamashi/tokei-chosa/portal/kankobutsu/yokohamajinko/r4dotainenrei.html>

をご覧ください。



### ◇主な特徴

#### 1 令和4年中の人口動態（資料1ページ）

- ・総人口は令和3年から2年連続の減少
- ・社会動態は+1万3305人、11年連続の増加
- ・自然動態は△1万5739人、7年連続の減少

#### 2 行政区別の人口動態（資料2ページ）

- ・港北区など5区で増加、金沢区など13区で減少

#### 3 市外移動の状況（資料3・4ページ）

- ・市外からの転入超過幅が拡大、特に国外からの転入が倍増
- ・川崎市、東京都区部からの転入超過が継続、転入超過数は縮小
- ・県央、湘南への転出超過が継続

#### 4 外国人人口の動き（資料5ページ）

- ・外国人人口は7,399人増加し、過去最大の10万6641人に
- ・国籍・地域別では、中国が+1,152人、ネパールが+865人
- ・在留資格別では、留学が+1,762人、永住者が+1,304人

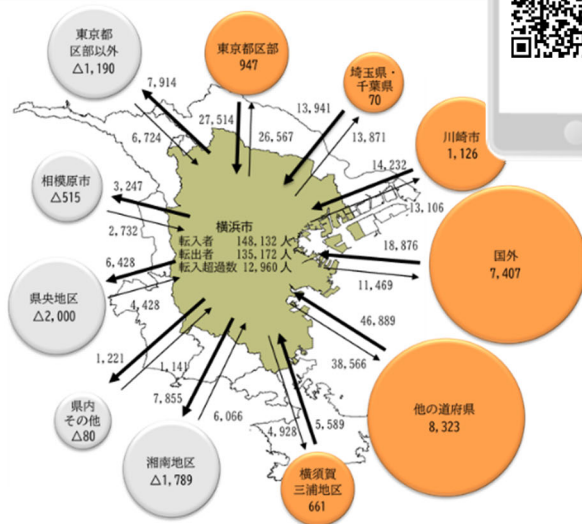
#### 5 年齢別人口（令和5年1月1日現在）の状況（資料6ページ）

- ・老年人口（65歳以上）は92万7387人、総人口に占める割合は25.3%、ともに過去最高
- ・年少人口（15歳未満）は42万6683人、総人口に占める割合は11.6%、ともに過去最低

<参考>

■令和4年中の人口動態：令和4年1月1日から12月31日までの住民基本台帳法及び戸籍法の規定に基づく出生・死亡・転入・転出の届出等により集計したものです。

■令和5年1月1日現在の年齢別人口：令和2年国勢調査を基礎として算出された令和4年1月1日現在年齢別人口に、令和4年1月～12月の住民基本台帳の年齢別人口動態を加減して集計したものです。



お問合せ先

政策局統計情報課長 入江 佳久 Tel 045-671-2050

## 1 令和4年中の人口動態

## 総人口は△2,434人、2年連続の減少

- 横浜市の総人口は令和4年の1年間に2,434人(0.06%)減少し、戦後初めて人口が減少した令和3年に続き2年連続の減少となりましたが、減少幅は縮小しています。
- 社会動態は1万3305人の増加(転入14万8132人-転出13万5172人-その他(注1)345人増)で、令和3年(+7,200人)より増加幅は拡大しています。
- 自然動態は1万5739人の減少(出生2万3785人-死亡3万9524人)で、令和3年(△1万1457人)より減少幅は拡大し、出生数と死亡数の差は昨年に続きマイナス1万人超となりました。自然減少は平成28年以降7年連続で、出生減・死亡増の傾向から、年々減少幅が拡大しています。

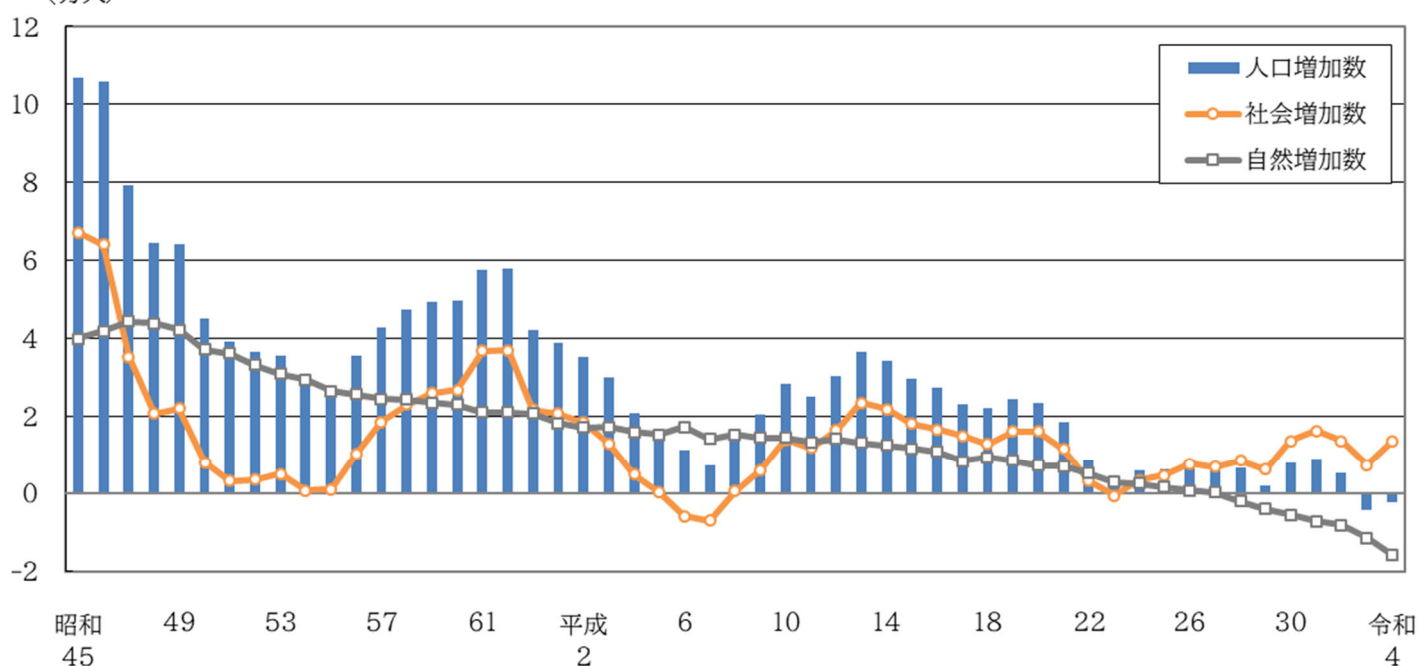
(注1) 職権による記載と消除等

表1 人口動態の推移(平成25年中~令和4年中)

年中	人口増加数	人口増加率(%)	社会動態				自然動態		
			社会増加数	転入	転出	その他	自然増加数	出生	死亡
平成25年	6,223	0.17	4,688	140,356	132,953	△2,715	1,535	30,753	29,218
26年	8,192	0.22	7,579	138,809	129,947	△1,283	613	30,780	30,167
27年	7,047	0.19	6,852	144,035	135,954	△1,229	195	30,928	30,733
28年	6,401	0.17	8,485	140,829	132,234	△110	△2,084	29,749	31,833
29年	1,988	0.05	6,061	140,759	134,518	△180	△4,073	28,611	32,684
30年	7,860	0.21	13,456	147,977	134,397	△124	△5,596	27,891	33,487
令和元年	8,985	0.24	16,185	151,930	135,653	△92	△7,200	26,394	33,594
2年	5,278	0.14	13,481	142,051	127,562	△1,008	△8,203	25,720	33,923
3年	△4,257	△0.11	7,200	139,021	131,362	△459	△11,457	24,876	36,333
4年	△2,434	△0.06	13,305	148,132	135,172	345	△15,739	23,785	39,524

(万人)

図1 人口増加の推移(昭和45年中~令和4年中)



## 2 行政区別の状況

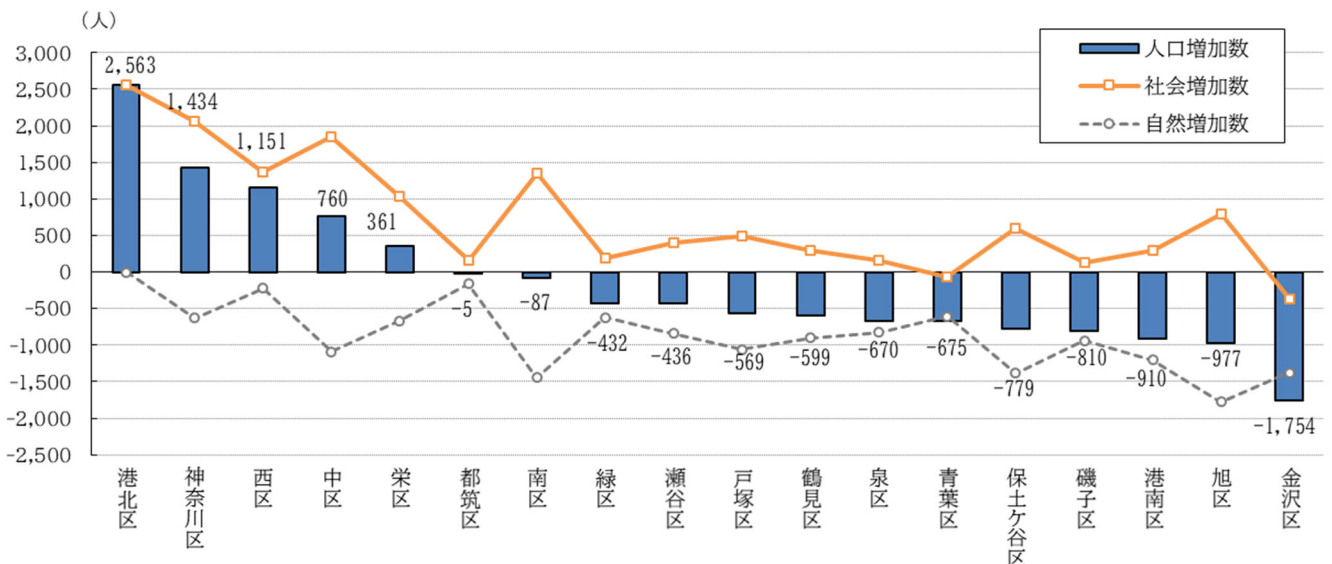
### 港北区など5区で増加、金沢区など13区で減少

- 人口増減を行政区別で見ると、増加が港北区（2,563人）、神奈川区（1,434人）、西区（1,151人）など5区、減少が金沢区（△1,754人）、旭区（△977人）、港南区（△910人）など13区となっています。
- 西区、中区の2区は「減少から増加」に、港南区、青葉区、戸塚区、都筑区の4区は「増加から減少」に転じています。
- 自然増加数は、すべての区でマイナスでした。
- 社会増加は港北区（2,566人）、神奈川区（2,060人）など16区で、減少は金沢区（△375人）、青葉区（△67人）の2区となっています。

表2 行政区別人口及び人口増減（令和4年中）

行政区	人口（1月1日現在）		人口増減					（参考） 令和3年中の 人口増加数
	令和4年	令和5年	人口増加数	社会増加数	自然増加数	人口増加率	順位	
横浜市	3,772,029	3,769,595	△ 2,434	13,305	△ 15,739	△ 0.07	-	△ 4,257
鶴見区	295,580	294,981	△ 599	298	△ 897	△ 0.20	9	△ 1,567
神奈川区	247,444	248,878	1,434	2,060	△ 626	0.58	3	335
西区	104,483	105,634	1,151	1,375	△ 224	1.10	1	△ 278
中区	150,271	151,031	760	1,849	△ 1,089	0.51	4	△ 1,118
港南区	197,517	197,430	△ 87	1,353	△ 1,440	△ 0.04	7	△ 579
保土ヶ谷区	206,631	205,852	△ 779	604	△ 1,383	△ 0.38	13	△ 1,018
旭区	243,359	242,382	△ 977	796	△ 1,773	△ 0.40	14	△ 1,441
磯子区	166,260	165,450	△ 810	130	△ 940	△ 0.49	17	△ 380
金沢区	197,646	195,892	△ 1,754	△ 375	△ 1,379	△ 0.89	18	△ 950
港北区	359,521	362,084	2,563	2,566	△ 3	0.71	2	994
緑区	183,222	182,790	△ 432	188	△ 620	△ 0.24	11	△ 106
青葉区	311,146	310,471	△ 675	△ 67	△ 608	△ 0.22	10	137
都筑区	214,891	214,886	△ 5	155	△ 160	△ 0.00	6	1,489
戸塚区	284,084	283,515	△ 569	492	△ 1,061	△ 0.20	8	220
栄区	120,613	120,974	361	1,029	△ 668	0.30	5	562
泉区	152,087	151,417	△ 670	155	△ 825	△ 0.44	16	△ 252
瀬谷区	122,052	121,616	△ 436	407	△ 843	△ 0.36	12	△ 428

図2 行政区別人口動態（令和4年中）



### 3 市外移動の状況

東京圏（注2）内での移動は川崎市、東京都区部などから転入超過、県央、湘南などへ転出超過

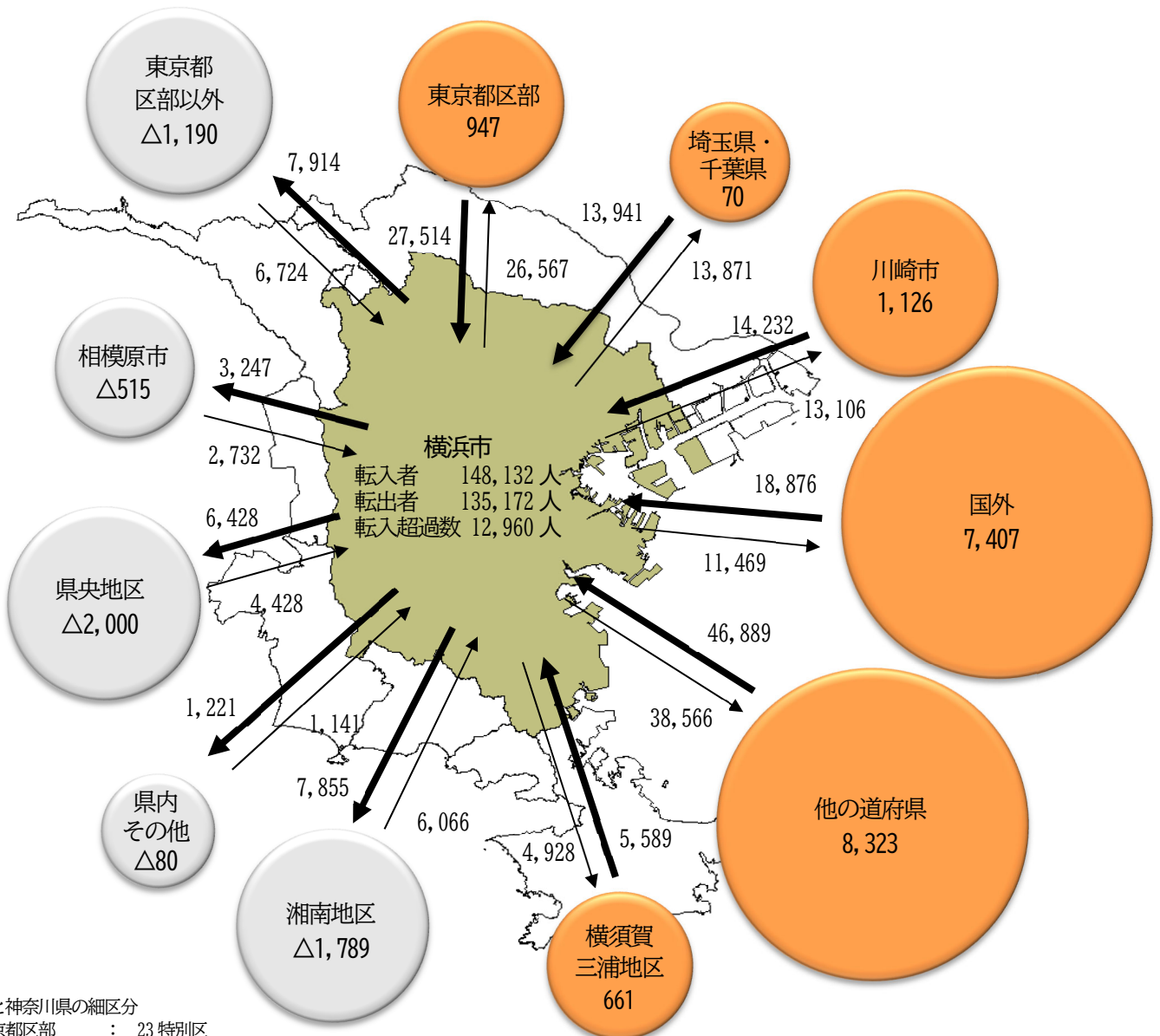
- 市外移動を地域別にみると、東京圏内での移動は、川崎市（1,126人）、東京都区部（947人）などから転入超過となっています。東京都区部からは前年に引き続き転入超過ですが、超過幅が縮小しています。
- 神奈川県内の県央（△2,000人）、湘南（△1,789人）、相模原市（△515人）などへ転出超過となっています。そのうち、県央、湘南では前年より超過幅が拡大しています。

東京圏外との移動では、他の道府県、国外から、いずれも転入超過幅が拡大

- 東京圏外との移動では、他の道府県（8,323人）、国外（7,407人）からいずれも転入超過となり、超過幅はそれぞれ前年（他の道府県7,408人、国外149人）より大幅に拡大しています。

（注2）東京都、神奈川県、埼玉県及び千葉県の上3県

図3 地域別にみた転入・転出者数（令和4年中）



東京都と神奈川県の細区分

- 東京都区部 : 23 特別区
- 東京都区部以外 : 23 特別区を除く都内の市町村
- 川崎市 : 川崎市（川崎区、幸区、中原区、高津区、宮前区、多摩区、麻生区）
- 相模原市 : 相模原市（緑区、中央区、南区）
- 横須賀三浦地区 : 横須賀市、鎌倉市、逗子市、三浦市、三浦郡（葉山町）
- 県央地区 : 厚木市、大和市、海老名市、座間市、綾瀬市、愛甲郡（愛川町、清川村）
- 湘南地区 : 平塚市、藤沢市、茅ヶ崎市、秦野市、伊勢原市、高座郡（寒川町）中郡（大磯町、二宮町）
- 県内その他 : 小田原市、南足柄市、足柄上郡（中井町、大井町、松田町、山北町、開成町）、足柄下郡（箱根町、真鶴町、湯河原町）

図4 東京圏内各地域の転入・転出超過数の推移（平成30年中～令和4年中）

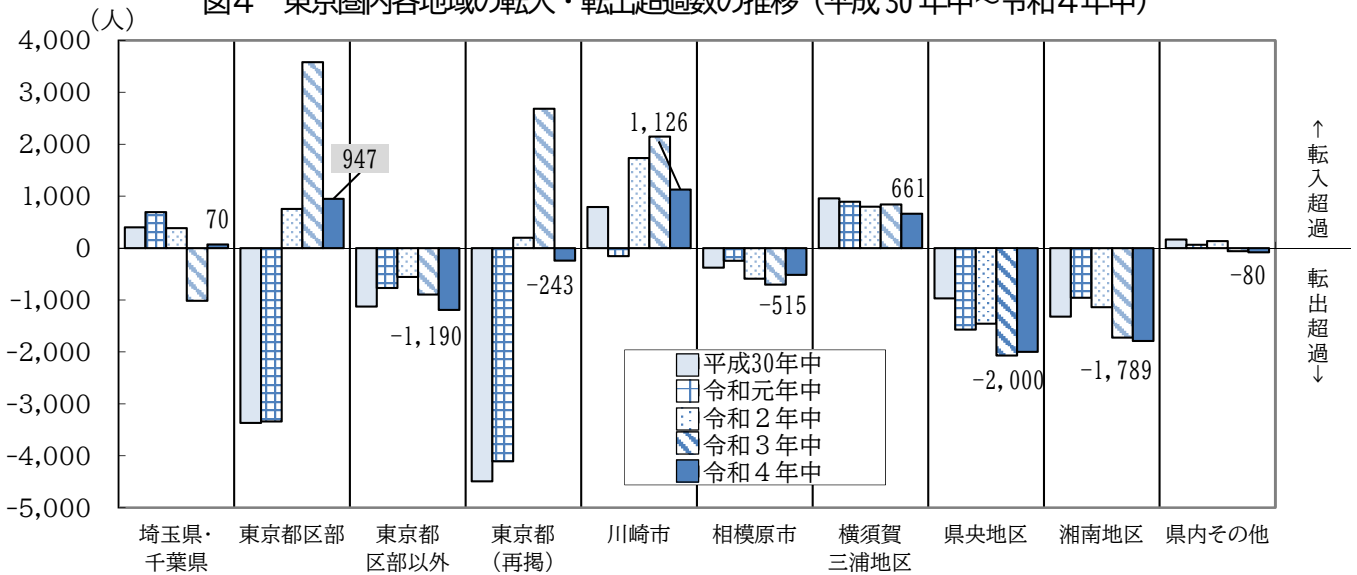


図5 国内国外移動の転入・転出超過数の推移（平成30年中～令和4年中）

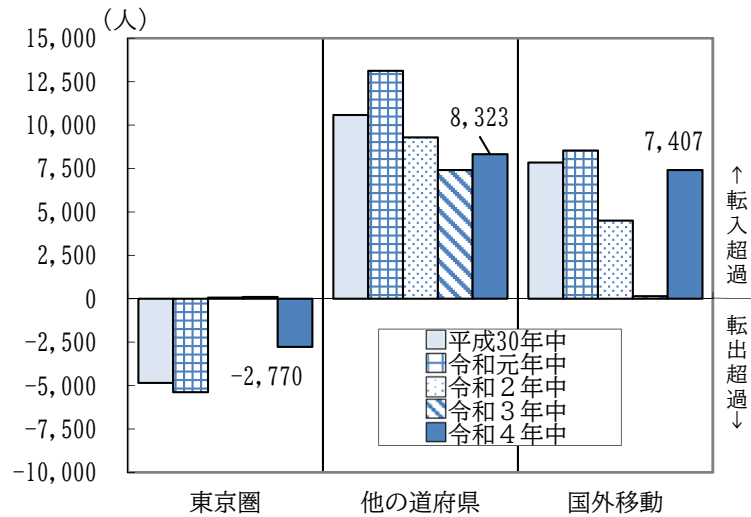


表3 地域別の転入超過数（令和3年中・4年中）

地域	転入超過数			転入			転出		
	令和4年	令和3年	令和3年～4年の増減数	令和4年	令和3年	令和3年～4年の増減数	令和4年	令和3年	令和3年～4年の増減数
総数	12,960	7,659	5,301	148,132	139,021	9,111	135,172	131,362	3,810
神奈川県内	△ 2,597	△ 1,568	△ 1,029	34,188	35,716	△ 1,528	36,785	37,284	△ 499
川崎市	1,126	2,147	△ 1,021	14,232	15,612	△ 1,380	13,106	13,465	△ 359
相模原市	△ 515	△ 703	188	2,732	2,688	44	3,247	3,391	△ 144
横須賀三浦地区	661	841	△ 180	5,589	5,885	△ 296	4,928	5,044	△ 116
県央地区	△ 2,000	△ 2,069	69	4,428	4,393	35	6,428	6,462	△ 34
湘南地区	△ 1,789	△ 1,723	△ 66	6,066	6,140	△ 74	7,855	7,863	△ 8
その他	△ 80	△ 61	△ 19	1,141	998	143	1,221	1,059	162
神奈川県外の県	8,150	9,078	△ 928	95,068	94,237	831	86,918	85,159	1,759
東京都	△ 243	2,685	△ 2,928	34,238	35,638	△ 1,400	34,481	32,953	1,528
区部	947	3,580	△ 2,633	27,514	29,024	△ 1,510	26,567	25,444	1,123
区部以外	△ 1,190	△ 895	△ 295	6,724	6,614	110	7,914	7,509	405
埼玉県・千葉県	70	△ 1,015	1,085	13,941	12,958	983	13,871	13,973	△ 102
他の道府県	8,323	7,408	915	46,889	45,641	1,248	38,566	38,233	333
国外	7,407	149	7,258	18,876	9,068	9,808	11,469	8,919	2,550
(再掲)									
国内移動	5,553	7,510	△ 1,957	129,256	129,953	△ 697	123,703	122,443	1,260
東京圏	△ 2,770	102	△ 2,872	82,367	84,312	△ 1,945	85,137	84,210	927

\*他の道府県には地域不詳を含む。

#### 4 外国人人口の動き

##### 外国人人口は7,399人増、過去最大の10万6641人に

- 住民基本台帳に記載のある外国人の数は10万6641人で、前年と比べて7,399人増加し、過去最大になりました。
- 外国人を人口動態の内訳で見ると、社会動態が+6,983人、自然動態が+416人となっています。転入者数（2万3461人）が前年より大幅に増加し、転出者数（1万4346人）を上回る転入超過となり、昨年の減少から増加に転じています。
- 行政区別では、南区（812人）が最大の増加となっています。
- 国籍・地域別では、中国（1,152人）、ネパール（865人）、インド（713人）の順に増加しています。
- 在留資格別では、留学（1,762人）と永住者（1,304人）の増加が大きくなっています。

表4 令和4年中の人口動態（日本人・外国人）

(人)

	人口 増加数	人口 増加率(%)	社会動態				自然動態		
			社会増減	転入	転出	その他	自然増減	出生	死亡
総数	△ 2,434	△ 0.06	13,305	148,132	135,172	345	△ 15,739	23,785	39,524
日本人	△ 9,833	△ 0.27	6,322	124,671	120,826	2,477	△ 16,155	23,098	39,253
外国人	7,399	7.46	6,983	23,461	14,346	△ 2,132	416	687	271
鶴見区	542	4.05	451	3,132	2,335	△ 346	91	124	33
神奈川区	645	9.05	604	1,854	1,080	△ 170	41	64	23
西区	565	12.72	541	1,610	756	△ 313	24	33	9
中区	679	4.38	666	2,713	1,508	△ 539	13	67	54
南区	812	7.80	768	1,988	1,019	△ 201	44	72	28
港南区	273	9.35	259	577	295	△ 23	14	21	7
保土ヶ谷区	391	7.42	356	1,269	731	△ 182	35	45	10
旭区	253	7.85	244	746	452	△ 50	9	15	6
磯子区	423	8.47	403	1,012	571	△ 38	20	30	10
金沢区	7	0.21	2	930	910	△ 18	5	18	13
港北区	781	11.65	757	2,266	1,348	△ 161	24	42	18
緑区	410	9.54	394	1,012	625	7	16	28	12
青葉区	553	12.67	528	1,567	992	△ 47	25	33	8
都筑区	360	10.45	334	931	590	△ 7	26	32	6
戸塚区	261	6.08	250	850	537	△ 63	11	30	19
栄区	204	16.85	198	308	138	28	6	9	3
泉区	103	4.26	97	346	249	0	6	15	9
瀬谷区	137	7.00	131	350	210	△ 9	6	9	3
(参考)令和3年中 外国人	△ 2,652	△ 2.59	△ 3,166	12,631	12,865	△ 2,932	514	774	260

表5 国籍・地域別の外国人人口（令和3年・4年、各年12月末現在）

(人)

国籍・地域	総数	中国	韓国・朝鮮	ベトナム	フィリピン	ネパール	インド	台湾	ブラジル	米国	インドネシア
令和3年	99,242	38,890	12,742	9,157	8,298	4,174	2,738	2,699	2,527	2,353	1,437
令和4年	106,641	40,042	12,903	9,818	8,853	5,039	3,451	2,867	2,623	2,605	2,016
構成比(%)	100.0	37.5	12.1	9.2	8.3	4.7	3.2	2.7	2.5	2.4	1.9
対前年増加数	7,399	1,152	161	661	555	865	713	168	96	252	579

\* 令和4年集計で登録人口が多い順に10の国・地域を記載

表6 在留資格別の外国人人口（令和4年12月末現在）

在留資格	外国人人口(人)		構成比 (%)	対前年	
	令和3年	令和4年		増加数	増加率(%)
教授、芸術、宗教、報道	205	240	0.2	35	17.1
高度専門職	1,010	1,077	1.0	67	6.6
技術・人文知識・国際業務	11,962	13,260	12.4	1,298	10.9
経営・管理	927	985	0.9	58	6.3
企業内転勤	556	892	0.8	336	60.4
教育	503	483	0.5	△ 20	△ 4.0
法律・会計業務、医療、研究、介護、興行	323	459	0.4	136	42.1
技能	2,345	2,290	2.1	△ 55	△ 2.3
特定技能	774	1,993	1.9	1,219	157.5
技能実習	4,074	4,561	4.3	487	12.0
留学	4,928	6,690	6.3	1,762	35.8
文化活動、研修	15	106	0.1	91	606.7
家族滞在	10,755	11,888	11.1	1,133	10.5
特定活動	3,087	2,446	2.3	△ 641	△ 20.8
永住者	37,582	38,886	36.5	1,304	3.5
日本人の配偶者等	5,313	5,387	5.1	74	1.4
永住者の配偶者等	2,135	2,236	2.1	101	4.7
定住者	5,346	5,481	5.1	135	2.5
特別永住者	7,339	7,217	6.8	△ 122	△ 1.7
その他	63	64	0.1	1	1.6

## 5 年齢別人口（令和5年1月1日現在）の状況

### 老年人口は92万7387人、総人口（注3）に占める割合は25.3%と、過去最高を更新

- 老年人口（65歳以上）は92万7387人、前年比1,131人（0.1%）の増加となっています。総人口（注3）に占める老年人口の割合は上昇し続けており、令和4年は25.3%と過去最高を更新しています。
- 年少人口（15歳未満）は42万6683人、前年比△7,467人（△1.7%）の減少となっています。総人口（注3）に占める年少人口の割合は低下傾向で推移しており、平成12年には老年人口の割合を下回りました。令和5年はこれまでで最も低い11.6%となっています。
- 75歳以上人口（51万1225人）は、年少人口を上回り、老年人口の半数以上を占めています。
- 老年人口の割合が最も高い区は栄区（31.4%）で、金沢区（30.9%）、旭区（30.4%）を加えた3区が30%超となっています。
- 年少人口の割合が最も高い区は都筑区（14.4%）で、港北区を除きすべての区で年少人口は減少しています。（注3）年齢不詳を除く

表7 年齢3区分別人口の推移（平成2年～令和5年）

年次	人口（人）					構成比（%）		
	総数	0～14歳 （年少人口）	15～64歳 （生産年齢人口）	65歳以上 （老年人口）	75歳以上	0～14歳 （年少人口）	15～64歳 （生産年齢人口）	65歳以上 （老年人口）
平成2	3,220,331	551,426	2,373,769	278,000	103,327	17.2	74.1	8.7
7	3,307,136	491,340	2,447,608	364,760	131,195	14.9	74.1	11.0
12	3,426,651	474,656	2,463,151	477,053	174,838	13.9	72.1	14.0
17	3,579,628	481,960	2,459,648	603,839	243,753	13.6	69.4	17.0
22	3,688,773	486,262	2,440,385	736,216	325,403	13.3	66.6	20.1
27	3,724,844	468,535	2,368,291	865,490	402,549	12.7	64.0	23.4
令和2	3,777,491	441,810	2,316,309	920,583	483,077	12.0	63.0	25.0
3	3,776,286	440,556	2,315,077	921,864	483,096	12.0	63.0	25.1
4	3,772,029	434,150	2,312,834	926,256	490,630	11.8	63.0	25.2
5	3,769,595	426,683	2,316,736	927,387	511,225	11.6	63.1	25.3
※	(人) △ 4,257 (%) △ 0.1	△ 6,406 △ 1.5	△ 2,243 △ 0.1	4,392 0.5	7,534 1.6			

\* 人口は、令和2年以前は「国勢調査」（10月1日現在）、令和3年以降は「推計人口」（1月1日現在）による。

\* 構成比は、「年齢不詳を含まない総人口」に対する構成比

※（ ）内の値は令和4年からの増加数及び増加率

表8 行政区別年齢3区分別人口の割合及び対前年増加率（令和4年・5年）

行政区	年齢別人口割合*						令和4年中の人口増加率（%）			
	令和4年			令和5年			総数	0～14歳 （年少人口）	15～64歳 （生産年齢人口）	65歳以上 （老年人口）
	0～14歳 （年少人口）	15～64歳 （生産年齢人口）	65歳以上 （老年人口）	0～14歳 （年少人口）	15～64歳 （生産年齢人口）	65歳以上 （老年人口）				
横浜市	11.8	63.0	25.2	11.6	63.1	25.3	△ 0.06	△ 1.72	0.17	0.12
鶴見区	12.5	65.9	21.5	12.3	66.2	21.5	△ 0.20	△ 2.08	0.17	△ 0.27
神奈川区	11.2	66.7	22.1	11.0	67.0	21.9	0.58	△ 0.81	1.06	△ 0.05
西区	11.1	69.4	19.6	10.9	69.8	19.4	1.10	△ 0.82	1.71	0.17
中区	10.2	65.7	24.1	9.9	66.1	24.0	0.51	△ 2.36	1.17	0.05
南区	9.8	63.0	27.2	9.6	63.4	27.0	△ 0.04	△ 2.14	0.53	△ 0.63
港南区	11.0	59.7	29.2	11.0	59.7	29.4	△ 0.42	△ 1.10	△ 0.52	0.01
保土ヶ谷区	10.8	62.2	27.0	10.6	62.4	27.0	△ 0.38	△ 1.61	△ 0.19	△ 0.37
旭区	11.3	58.4	30.3	11.2	58.5	30.4	△ 0.40	△ 1.74	△ 0.24	△ 0.24
磯子区	11.7	59.9	28.4	11.6	59.9	28.5	△ 0.49	△ 1.70	△ 0.42	△ 0.20
金沢区	10.8	58.7	30.6	10.5	58.6	30.9	△ 0.89	△ 3.16	△ 1.06	0.18
港北区	12.5	67.5	20.0	12.4	67.7	19.9	0.71	0.00	0.99	0.35
緑区	12.7	62.3	25.1	12.4	62.4	25.2	△ 0.24	△ 2.25	△ 0.08	0.39
青葉区	12.7	64.6	22.7	12.5	64.4	23.1	△ 0.22	△ 1.68	△ 0.52	1.45
都筑区	14.8	66.4	18.8	14.4	66.6	19.1	0.00	△ 2.94	0.18	1.68
戸塚区	12.8	60.9	26.2	12.6	61.1	26.3	△ 0.20	△ 2.23	0.07	0.14
栄区	11.1	57.2	31.6	11.0	57.6	31.4	0.30	△ 0.77	0.85	△ 0.31
泉区	11.6	58.9	29.5	11.4	59.0	29.6	△ 0.44	△ 2.03	△ 0.36	0.00
瀬谷区	11.4	59.8	28.9	11.2	60.0	28.9	△ 0.36	△ 2.16	△ 0.02	△ 0.37

\*年齢別人口割合は、「年齢不詳を含まない総人口」に対する割合